

令和4年度

5期生

2年次授業シラバス

しらかわ介護福祉専門学校

目次

領域：人間と社会

人間関係論Ⅱ	2
社会の理解	3
心理学	5
地域福祉論	6
レクリエーション概論	7
情報処理の応用	8

領域：介 護

生活支援技術Ⅰ	9
生活支援技術Ⅱ	10
生活支援技術Ⅲ	11
レクリエーション実技Ⅰ	13
レクリエーション実技Ⅱ	14
介護過程Ⅱ	15
介護過程Ⅲ	17
介護総合演習Ⅰ	18
介護総合演習Ⅱ	19
介護実習Ⅰ	20
介護実習Ⅱ	21

領域：こころとからだのしくみ

障害の理解	22
こころとからだのしくみⅡ	23
リハビリテーションⅠ	24
リハビリテーションⅡ	25
医療的ケアの基礎と理解	26
喀痰吸引・経管栄養の演習	29

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(実務経験の有無)
人間関係論Ⅱ	30	1	2年後期	講義	宮尾 直木 介護職員として介護施設に4年勤務 介護支援専門員として居宅支援事業所に12年勤務
【授業の概要】					
相談援助職者として必要な人間の尊厳や権利擁護、対人援助関係における基本的態度や原則について等々学びチームマネジメント、チームケアの実践力の向上を目指し、基礎的コミュニケーション能力を養うための学習とする。					
【到達目標】					
①介護サービスの特性を理解し、チームマネジメントの全体像が理解できる。 ②協働のあり方やチームの力を最大限に発揮するための取り組みについて理解できる。 ③チームの実践力の向上に向けた人材育成、自己研鑽について理解できる。 ④組織の構造と機能や役割について学び、自分も組織の一員として関わっていることを理解する。					
【テキスト・参考書】					
最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」(中央法規出版) 配布資料					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容	教員		
1	介護実践におけるチームマネジメント	ヒューマンサービスとしての介護サービス	宮尾		
2	介護実践におけるチームマネジメント	介護現場で求められるチームマネジメント	宮尾		
3	介護実践におけるチームマネジメント	介護現場で求められるチームマネジメント	宮尾		
4	ケアを展開するためのチームマネジメント	ケアを展開するためのチームマネジメント	宮尾		
5	ケアを展開するためのチームマネジメント	ケアを展開するためのチームマネジメント	宮尾		
6	ケアを展開するためのチームマネジメント	ケアを展開するためのチームマネジメント	宮尾		
7	人材育成・自己研鑽のためのチームマネジメント	介護福祉職のキャリアと求められる実践力	宮尾		
8	人材育成・自己研鑽のためのチームマネジメント	キャリア支援	宮尾		
9	人材育成・自己研鑽のためのチームマネジメント	自己研鑽	宮尾		
10	組織の目標達成のためのチームマネジメント	介護サービスを支える組織構造	宮尾		
11	組織の目標達成のためのチームマネジメント	組織の機能と役割	宮尾		
12	組織の目標達成のためのチームマネジメント	組織の管理	宮尾		
13	組織の目標達成のためのチームマネジメント	組織の目標達成のためのチームマネジメント	宮尾		
14	介護実践におけるチームマネジメント	まとめ	宮尾		
15	まとめ	単位認定試験	宮尾		
【評価方法】					
科目の最終回に評価を実施する。授業出席・授業態度・試験・レポートによる評価。					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(主な実務経験)
社会の理解	60	2	2年前期	講義	菅原俊博 (生活指導員として20年)
【授業の概要】					
地域社会における生活とその支援及び社会保障制度・施策の基礎的な知識を学び、「社会的関係性のなかで対象者を理解する力」を育むことを目的とする学習。					
【到達目標】					
①人を理解するために、その人の生活背景を理解し、社会の仕組みについて理解を深める。 ②社会を構成する様々な制度やサービスについて理解を深める。 ③福祉サービスや制度を活用することによって実現する生活について理解を深める。 ④自己実現に向けた生活支援や福祉社会の動静について理解を深める。					
【テキスト・参考書】					
最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」(中央法規出版) 社会保障入門編集委員会「社会保障入門2022」(中央法規出版) 配布資料					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
1	社会と生活のしくみ	生活の基本機能、社会生活のメカニズム			菅原
2	社会と生活のしくみ	家族の役割、家庭生活の機能			菅原
3	社会と生活のしくみ	ライフスタイル、少子高齢化と健康寿命			菅原
4	社会と生活のしくみ	社会・組織の機能と役割			菅原
5	社会と生活のしくみ	生活支援と福祉、自助・互助・共助・公助			菅原
6	地域共生社会の実現に向けた制度や施策	共生型システム、コミュニティ・ソーシャルワーク			菅原
7	社会保障制度	社会保障の意義と役割			菅原
8	社会保障制度	社会保障の基盤整備			菅原
9	社会保障制度	社会保険と社会扶助①			菅原
10	社会保障制度	社会保険と社会扶助②			菅原
11	社会保障制度	社会保険と社会扶助③			菅原
12	高齢者保健福祉と介護保険制度	高齢者保健福祉の歴史と法体系			菅原
13	高齢者保健福祉と介護保険制度	介護問題と高齢者保健福祉			菅原
14	高齢者保健福祉と介護保険制度	高齢者の社会参加と今日的課題			菅原
15	単位認定試験	試験・まとめ			菅原
【評価方法】					
試験結果、授業態度、出席状況、レポート等により評価。					
【その他】					
パワーポイントを用いての講義。					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(主な実務経験)
社会の理解	60	2	2年後期	講義	菅原俊博 (生活指導員として20年)
【授業の概要】					
地域社会における生活とその支援及び社会保障制度・施策の基礎的な知識を学び、「社会的関係性のなかで対象者を理解する力」を育むことを目的とする学習。					
【到達目標】					
①人を理解するために、その人の生活背景を理解し、社会の仕組みについて理解を深める。 ②社会を構成する様々な制度やサービスについて理解を深める。 ③福祉サービスや制度を活用することによって実現する生活について理解を深める。 ④自己実現に向けた生活支援や福祉社会の動静について理解を深める。					
【テキスト・参考書】					
最新介護福祉士養成講座2「社会の理解」(中央法規出版) 社会保障入門編集委員会「社会保障入門2022」(中央法規出版) 配布資料					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
16	介護保険制度	介護保険制度創設の背景と目的			菅原
17	介護保険制度	介護保険制度の基本的理解①			菅原
18	介護保険制度	介護保険制度の基本的理解②			菅原
19	介護保険制度	介護保険サービスの種類と内容①			菅原
20	介護保険制度	介護保険サービスの種類と内容②			菅原
21	地域包括ケアシステム	地域包括ケアの理念と共生型サービス			菅原
22	ケアマネジメント	ケアマネジメントのシステムとプロセス①			菅原
23	ケアマネジメント	ケアマネジメントのシステムとプロセス②			菅原
24	障害者総合支援制度	障害者保健福祉の現状と動向			菅原
25	障害者総合支援制度	障害者保健福祉に関する制度			菅原
26	障害者総合支援制度	障害者総合支援制度の給付と事業			菅原
27	介護実践に関連する諸制度	生活を守る諸制度①			菅原
28	介護実践に関連する諸制度	生活を守る諸制度②			菅原
29	介護実践に関連する諸制度	生活を守る諸制度③			菅原
30	単位認定試験	試験・まとめ			菅原
【評価方法】					
試験結果、授業態度、出席状況、レポート等により評価。					
【その他】					
パワーポイントを用いて講義。					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(実務経験の有無)
心理学	30	1	2年前期	講義	白井 志之夫 (臨床心理士として医療機関に18年勤務)
【授業の概要】 自己と他者を理解するための基礎知識として、こころの発達と働きについて知る。					
【到達目標】 人と関係を築く際に、心の領域に目を向ける姿勢を養う。					
【テキスト・参考書】 理学入門 心理学はこんなに面白い 改訂版(2019) (有斐閣)					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
1	心理学とは	授業の概要説明			白井
2	心理学の歴史	こころはどう探求されてきたか			白井
3	身近に感じる心理学	心理に関する支援			白井
4	身近に感じる心理学	性格と個人差			白井
5	身近に感じる心理学	動機づけについて			白井
6	身近に感じる心理学	円滑なコミュニケーションに向けて			白井
7	心理学で日常生活を読み解く	身近な人や社会との関係			白井
8	心理学で日常生活を読み解く	発達心理 乳幼児から青年まで			白井
9	心理学で日常生活を読み解く	発達心理 青年期・成人期の発達			白井
10	心理学で日常生活を読み解く	心を測る 心理的アセスメント			白井
11	心理学で日常生活を読み解く	ストレスとその影響 ストレスへの対処に向けて			白井
12	心理学で日常生活を読み解く	こころの病、障害について			白井
13	心理学で日常生活を読み解く	知覚・認知・記憶			白井
14	心理学で日常生活を読み解く	あなたはどのように行動するのか			白井
15	まとめ	単位認定試験・解説・まとめ			白井
【評価方法】 授業出欠、授業態度、試験、レポートによる評価。					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(実務経験の有無)
地域福祉論	30	1	2年前期	講義・演習	宗形 昭典 (介護職員として介護施設に6年勤務)
【授業の概要】					
地域福祉の実践は住民を中心に専門職や行政が協働し、誰もがその人らしく暮らせる地域とその仕組みを作りあげていく実践といえる。現在の福祉ニーズは何か。それに対しどのように生活者として関わっているのか。今後どのような対応が求められるのかを活動の見学や参加をとおして肌で感じ、学ぶ。					
【到達目標】					
①地域福祉の仕組みや実際を知る。 ②地域福祉の主体について理解する。 ③地域福祉活動の実際について内容をまとめ発表できる。					
【テキスト・参考書】					
配布物					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
1	地域福祉を知る	地域とはなにかを知る			宗形
2	地域福祉を知る	地域と福祉の関わり			宗形
3	地域福祉を知る	地域福祉の現状			宗形
4	地域福祉を知る	地域福祉の活動を知る①			宗形
5	地域福祉を知る	地域福祉の活動を知る②			宗形
6	地域福祉を知る	地域福祉の活動を知る③			宗形
7	地域に参加する	地域福祉活動に参加する①			宗形
8	地域に参加する	地域福祉活動に参加する② 活動内容をまとめる			宗形
9	地域に参加する	地域福祉活動の報告会			宗形
10	地域に参加する	地域福祉活動に参加する③			宗形
11	地域に参加する	地域福祉活動に参加する④ 活動内容をまとめる			宗形
12	地域に参加する	地域福祉活動の報告会			宗形
13	地域に参加する	地域福祉活動に参加する⑤			宗形
14	地域の現状を知る	地域福祉活動に参加する⑥ 活動内容をまとめる			宗形
15	地域の現状を知る	地域福祉活動の報告会			宗形
【評価方法】					
課題提出物、報告内容、授業出欠による評価。					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(実務経験の有無)
レクリエーション概論	30	1	2年前期	講義・演習	佐藤喜也 福島県レクリエーション協会にインストラクターとして11年勤務
【授業の概要】 介護や医療の現場で、より良い生活と人生を追及するために欠くことのできないレクリエーションに関わる諸活動を実践するために必要とされる人間や集団の理解、自主的・主体的な取り組みを促す動機づけ、他者とのコミュニケーションのあり方等について、その基礎となる理論を学ぶ。					
【到達目標】 遊び・レジャー・レクリエーションの我が国における現代的な意義と、Therapeutic Recreation Serviceの基本的な考え方、社会福祉領域におけるレクリエーション援助について修得する。					
【テキスト・参考書】 レクリエーション・インストラクター養成テキスト「楽しさをとoshした心の元気づくり」 (公益財団法人日本レクリエーション協会発行)					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
1	楽しさと心の元気づくりの理論1	レクリエーションの主旨 楽しさをとoshした元気づくり			佐藤
2	良好な集団づくりの理論と実際1	レクリエーションの二つの楽しさ 良好な集団づくりとレクリエーション			佐藤
3	良好な集団づくりの理論と実際2	集団内のコミュニケーションの促進 アイスブレイキングについて			佐藤
4	良好な集団づくりの理論と実際3	アイスブレイキングの技術 アイスブレイキングモデル			佐藤
5	楽しさと心の元気づくりの理論2	ライフステージとレクリエーション			佐藤
6	自主的、主体的に 楽しむ力を育む理論1	レクリエーション支援の全体像 成功体験に基づく自己効力感			佐藤
7	自主的、主体的に 楽しむ力を育む理論2	自己効力感を高める支援方法 CSSプロセスを支える理論			佐藤
8	リスクマネジメントの理論	リスクの予知と対応 リスクマネジメントの方法			佐藤
9	コミュニケーションと 信頼関係づくりの理論と実際1	ホスピタリティと信頼関係づくり 支援におけるコミュニケーション			佐藤
10	コミュニケーションと 信頼関係づくりの理論と実際2	ホスピタリティの意識と配慮 ホスピタリティのための自己開示			佐藤
11	コミュニケーションと 信頼関係づくりの理論と実際3	ホスピタリティと交流分析 ホスピタリティとしての表現			佐藤
12	セラピューティック レクリエーションに関する理論1	TR概論 アセスメントとA-PIEプロセス			佐藤
13	セラピューティック レクリエーションに関する理論2	介護領域におけるモデルプログラム 活動分析の考え方			佐藤
14	セラピューティック レクリエーションに関する理論3	TRの考え方に基づくプログラム 重層的プログラムの考え方			佐藤
15	レクリエーション概論まとめ	レクリエーションとは何か			佐藤
【評価方法】 出席状況、提出物状況、授業態度、グループワークへの参加状況および参加態度、筆記試験					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(実務経験の有無)
情報処理の応用	30	1	2年前期	演習	加茂 直樹 (実務経験無)
【授業の概要】					
実務で役に立つ技能の習得を目標に、基礎編より実戦的な内容を学習する。					
【到達目標】					
中央職業能力開発協会・コンピュータサービス技能評価試験（CS試験）のワープロ部門（Word）3級、表計算部門（Excel）3級の資格取得を目指す（受験は授業終了後に別途）					
【テキスト・参考書】					
よくわかるWord&Excel スキルアップ問題集（FOM出版）					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
1	Word 文字入力練習、編集	入力速度の目標（日本語35文字／分）、 範囲選択、コピー／移動／貼り付け			加茂
2	Word 書式、ページ設定	段落、横位置、フォント、 用紙、文字数／行数、余白			加茂
3	Word 表作成	線引き、消去、行／列の操作、セル結合、 文字配置、高さ／幅の均等調整、段落罫線			加茂
4	Word 高度な書式	箇条書き、文字の均等割り付け、拡張書式、 書式のコピー、ヘッダー／フッター、ページ番号			加茂
5	Word 挿入	ファイルからの画像、図形、ワードアート、 オブジェクトの書式（レイアウト、順序）			加茂
6	Excel 文字入力、編集、関数①	セルへの入力／削除／修正、範囲選択、 コピー／移動／貼り付け、計算式／簡単な関数			加茂
7	Excel 書式	表示形式（カンマ、通貨、パーセント、日付）、 罫線、セル内配置、フォント、行／列の操作			加茂
8	Excel 関数②	最大、最小、該当セルの個数、端数処理、順位、 日付関連、条件分岐、絶対参照			加茂
9	Excel ページ設定、シート操作	印刷範囲、縮小印刷、ヘッダー／フッター、 シートの移動／挿入／削除、作業グループ			加茂
10	Excel グラフ	表範囲の選択、円グラフ／棒グラフの作成、 グラフ種類の変更、グラフ要素の追加／変更			加茂
11	Excel データベース	テーブルの定義、レコード／フィールド、 並べ替え、抽出、ウィンドウ枠の固定			加茂
12	CS試験受験対策 ワープロ部門3級	ワープロ部門模擬試験の実施（試験時間・50分） ワープロ部門模擬試験の解答と解説			加茂
13	CS試験受験対策 ワープロ部門3級／表計算部門3級	ワープロ部門模擬試験の解答と解説 表計算部門模擬試験の実施（試験時間・45分）			加茂
14	CS試験受験対策 表計算部門3級	表計算部門模擬試験の解答と解説			加茂
15	単位評価試験	Word／Excel 単位評価実技試験の実施			加茂
【評価方法】					
単位評価実技試験の成績による。※ CS試験の結果は考慮しない					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(主な実務経験)
生活支援技術 I	120	4	2年後期	講義・演習	本柳瑞恵 (介護職員として介護施設に19年勤務)
【授業の概要】					
尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守る事も含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する学習とする。					
【到達目標】					
①家事の介護における他職種との連携・役割について理解し、その必要性について説明する事が出来る。 ②家事支援の基本となる技術を学習し、家事支援におけるアセスメントの視点や支援内容について自分の考えを述べる事が出来る。					
【テキスト・参考書】					
最新・介護福祉士養成講座6 「生活支援技術 I」 中央法規出版 配布資料					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
41	家事支援	家事の介護における他職種との連携			本柳
42	家事支援	家事の介護における他職種との連携			本柳
43	家事支援	調理実習① 和食の基本			本柳
44	家事支援	調理実習① 和食の基本			本柳
45	家事支援	調理実習② 糖尿病食			本柳
46	家事支援	調理実習② 糖尿病食			本柳
47	家事支援	調理実習③ 減塩食(腎臓食)			本柳
48	家事支援	調理実習③ 減塩食(腎臓食)			本柳
49	家事支援	1年次自立に向けた家事の介護 復習			本柳
50	家事支援	2年次自立に向けた家事の介護 復習			本柳
51	家事支援	行事食の計画(クリスマス)			本柳
52	家事支援	行事食の計画(クリスマス)			本柳
53	家事支援	調理実習④行事食(クリスマス会)			本柳
54	家事支援	調理実習④行事食(クリスマス会)			本柳
55	家事支援	裁縫実習① 制作			本柳
56	家事支援	裁縫実習② 制作			本柳
57	家事支援	裁縫実習③ 制作			本柳
58	家事支援	裁縫実習④ 制作			本柳
59	家事支援	裁縫実習⑤ 制作			本柳
60	家事支援	裁縫実習⑥ 制作			本柳
【評価方法】					
提出物・授業の出欠・授業態度により評価					
【その他】 エプロン・三角巾等必要なものについては持参すること					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(主な実務経験)
生活支援技術Ⅱ	120	4	2年前期	講義・演習	本柳瑞恵 (介護職員として介護施設に19年勤務) 宗形昭典 (介護職員として介護施設に6年勤務)
【授業の概要】 尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する学習とする。					
【到達目標】 ①自立に向けた各生活行為とは何かを理解できる。 ②自立に向けた身体介護技術の基本を実践できる。					
【テキスト・参考書】 最新・介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」(中央法規出版) 配布資料					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
49	自立生活に向けた生活支援	授業の流れ 今後の流れ			宗形
50	自立生活に向けた生活支援	手浴・足浴の介助			宗形
51	自立生活に向けた生活支援	手浴・足浴の介助			宗形
52	自立生活に向けた生活支援	入浴の実際① 洗髪(女性) 入浴(男性)			宗形
53	自立生活に向けた生活支援	入浴の実際② 洗髪(女性) 入浴(男性)			宗形
54	自立生活に向けた生活支援	入浴の実際③ 洗髪(男性) 入浴(女性)			宗形
55	自立生活に向けた生活支援	入浴の実際④ 洗髪(男性) 入浴(女性)			宗形
56	自立生活に向けた生活支援	これまでの介護技術と事例実施①			宗形
57	自立生活に向けた生活支援	これまでの介護技術と事例実施②			宗形
58	自立生活に向けた生活支援	これまでの介護技術と事例実施③			宗形
59	自立生活に向けた生活支援	介護事例練習			宗形
60	自立生活に向けた生活支援	単位認定試験 実技試験(事例内容いずれか一つ)			宗形
【評価方法】 授業態度・出席・提出物。					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員
生活支援技術Ⅲ	60	2	2年前期	講義	宗形昭典 (介護職員として介護施設に6年勤務)
【授業の概要】					
尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する学習とする。					
【到達目標】					
①障害の特性の基本を理解できる。 ②障害の特性に応じた自立支援の基本を理解できる。					
【テキスト・参考書】					
最新・介護福祉士養成講座8 「生活支援技術Ⅲ」（中央法規出版） 児童福祉法の障害児サービスを半分使う。（見て覚える社会福祉士国試ナビ p 110-123） 手帳関係（社会保障指差しガイド118-128）					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
1	障害に応じた生活支援技術Ⅰ	肢体不自由に応じた介護①			宗形
2	障害に応じた生活支援技術Ⅰ	肢体不自由に応じた介護②			宗形
3	障害に応じた生活支援技術Ⅰ	肢体不自由に応じた介護③			宗形
4	障害に応じた生活支援技術Ⅰ	肢体不自由に応じた介護④			宗形
5	障害に応じた生活支援技術Ⅱ	知的障害に応じた介護①			宗形
6	障害に応じた生活支援技術Ⅱ	知的障害に応じた介護②			宗形
7	障害に応じた生活支援技術Ⅱ	精神障害者に応じた介護			宗形
8	障害に応じた生活支援技術Ⅱ	精神障害者に応じた介護			宗形
9	障害に応じた生活支援技術Ⅱ	高次脳機能障害に応じた介護			宗形
10	障害に応じた生活支援技術Ⅱ	発達障害に応じた介護			宗形
11	障害に応じた生活支援技術Ⅱ	筋委縮性側索硬化症に応じた介護			宗形
12	障害に応じた生活支援技術Ⅱ	パーキンソン病に応じた介護			宗形
13	障害に応じた生活支援技術Ⅱ	悪性関節リウマチに応じた介護			宗形
14	障害に応じた生活支援技術Ⅱ	筋ジストロフィーに応じた介護			宗形
15	単位認定試験・まとめ	試験・まとめ			宗形
【評価方法】					
科目の最終回に評価を実施する。授業出欠・授業態度・試験・レポートによる評価。					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(主な実務経験)
生活支援技術Ⅲ	60	2	2年後期	講義・演習	本柳瑞恵 (介護職員として介護施設に19年勤務)
【授業の概要】					
尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する学習とする。					
【到達目標】					
①障害の特性の基本を理解できる。 ②障害の特性に応じた自立支援の基本を理解できる。					
【テキスト・参考書】					
最新・介護福祉士養成講座8「生活支援技術Ⅲ」(中央法規出版) 配布資料					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
16	障害に応じた生活支援技術	心臓機能障害に応じた介護			本柳
17	障害に応じた生活支援技術	呼吸器障害に応じた介護			本柳
18	障害に応じた生活支援技術	視覚障害者に応じた介護・重複障害に応じた介護			本柳
19	障害に応じた生活支援技術	視覚障害者に応じた介護(演習)			本柳
20	障害に応じた生活支援技術	肝臓機能障害に応じた介護			本柳
21	障害に応じた生活支援技術	腎臓機能障害に応じた介護			本柳
22	障害に応じた生活支援技術	HIVによる免疫機能障害に応じた介護			本柳
23	障害に応じた生活支援技術	聴覚障害者に応じた介護(手話講座)			外部講師
24	障害に応じた生活支援技術	聴覚障害者に応じた介護(手話講座)			外部講師
25	障害に応じた生活支援技術	膀胱・直腸機能障害に応じた介護			本柳
26	障害に応じた生活支援技術	小腸機能障害に応じた介護			本柳
27	障害に応じた生活支援技術	ストマーの支援技術(演習)			本柳
28	障害に応じた生活支援技術	重症心身障害に応じた介護			本柳
29	障害に応じた生活支援技術	後期のまとめ			本柳
30	まとめ	単位認定試験・解説			本柳
【評価方法】					
授業出欠・授業態度・試験・レポートによる評価。					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(実務経験の有無)
レクリエーション実技 I	30	1	2年前期	講義・演習	佐藤喜也 福島県レクリエーション協会にインストラクターとして11年勤務
【授業の概要】					
介護や医療の現場で、より良い生活と人生を追及するために欠くことのできないレクリエーションに関わる諸活動を実践するために必要とされる人間や集団の理解、自主的・主体的な取り組みを促す動機づけ、他者とのコミュニケーションのあり方等について、その基礎となる理論を学ぶ。					
【到達目標】					
人の尊厳を守るという観点から、本人の自立・自律を尊重し、見守りを含め、レクリエーション主体である介護サービス利用者の潜在能力を引き出すことのできるレクリエーション支援の方法を身につける。					
【テキスト・参考書】					
レクリエーション・インストラクター養成テキスト「楽しさをとおした心の元気づくり」 (公益財団法人日本レクリエーション協会発行)					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
1	レクリエーション支援の実際 1	アイスブレイキングに学ぶ 基礎的支援技術 1			佐藤
2	レクリエーション支援の実際 2	アイスブレイキングに学ぶ 基礎的支援技術 2			佐藤
3	レクリエーション活動の習得 1	介護福祉領域における モデルプログラムの体験 1			佐藤
4	レクリエーション活動の習得 2	介護福祉領域における モデルプログラムの体験 2			佐藤
5	レクリエーション活動の習得 3	レクリエーション活動における 基礎実技の習得 1			佐藤
6	レクリエーション活動の習得 4	レクリエーション活動における 基礎実技の習得 2			佐藤
7	レクリエーション活動の習得 5	レクリエーション活動における 基礎実技の習得 3			佐藤
8	レクリエーション活動の習得 6	レクリエーション活動における 基礎実技の習得 4			佐藤
9	レクリエーション活動の習得 7	レクリエーション活動における 基礎実技の習得 5			佐藤
10	レクリエーション活動の習得 8	レクリエーション活動における 基礎実技の習得 6			佐藤
11	レクリエーション活動の習得 9	レクリエーション活動における 基礎実技の習得 7			佐藤
12	レクリエーション活動の習得 10	レクリエーション活動における 基礎実技の習得 8			佐藤
13	レクリエーション支援の実際 3	成功体験を積み重ねるハードル設定 1			佐藤
14	レクリエーション支援の実際 4	成功体験を積み重ねるハードル設定 2			佐藤
15	レクリエーション支援の実際 5	成功体験を積み重ねるハードル設定 3			佐藤
【評価方法】					
出席状況、提出物状況、授業態度、グループワークへの参加状況および参加態度、筆記試験					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(実務経験の有無)
レクリエーション実技Ⅱ	30	1	2年後期	講義・演習	佐藤喜也 福島県レクリエーション協会にインストラクターとして11年勤務
【授業の概要】					
介護や医療の現場で、より良い生活と人生を迫及するために欠くことのできないレクリエーションに関わる諸活動を実践するために必要とされる人間や集団の理解、自主的・主体的な取り組みを促す動機づけ、他者とのコミュニケーションのあり方等について学ぶ。					
【到達目標】					
人の尊厳を守るという観点から、本人の自立・自律を尊重し、見守りを含め、レクリエーション主体である介護サービス利用者の潜在能力を引き出すことのできるレクリエーション支援の方法を身につける。					
【テキスト・参考書】					
レクリエーション・インストラクター養成テキスト「楽しさをとoshした心の元気づくり」 (公益財団法人日本レクリエーション協会発行)					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
1	レクリエーション支援の実際 6	成功体験を積み重ねるためのアレンジ 3			佐藤
2	レクリエーション支援の実際 7	成功体験を積み重ねるためのアレンジ 4			佐藤
3	レクリエーション支援の実際 8	CSSプロセスとコミュニケーション			佐藤
4	レクリエーション支援演習 1	レクリエーション支援技術の 一体的活用 1			佐藤
5	レクリエーション支援演習 2	レクリエーション支援技術の 一体的活用 2			佐藤
6	レクリエーション支援演習 3	レクリエーション活動展開案の作成 1			佐藤
7	レクリエーション支援演習 4	レクリエーション活動展開案の作成 2			佐藤
8	レクリエーション支援演習 5	レクリエーションプログラム 展開案の作成 1			佐藤
9	レクリエーション支援演習 6	レクリエーションプログラム 展開案の作成 2			佐藤
10	レクリエーション支援演習 7	プログラム展開案の実施と評価 1			佐藤
11	レクリエーション支援演習 8	プログラム展開案の実施と評価 2			佐藤
12	レクリエーション支援演習 9	プログラム展開案の実施と評価 3			佐藤
13	レクリエーション支援演習 10	プログラム展開案の実施と評価 4			佐藤
14	レクリエーション支援演習 11	プログラム展開案の実施と評価 5			佐藤
15	レクリエーション支援演習 12	プログラム展開案の実施と評価 6			佐藤
【評価方法】					
出席状況、提出物状況、授業態度、グループワークへの参加状況および参加態度、プログラム展開案の作成・実施における評価、筆記試験					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(主な実務経験)
介護過程Ⅱ	60	2	2年前期	講義・演習	本柳 瑞恵 (介護職員として介護施設に19年)
【授業の概要】					
他の科目で学習した知識や技術を統合して介護過程を展開し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う学習とする。					
【到達目標】					
①個別ケアの提供における介護計画の意義を理解することができる。 ②利用者の望む生活に向けて介護計画（個別援助計画）を立案することができる。 ③チームアプローチにおける介護福祉士の役割を説明することができる。					
【テキスト・参考書】					
最新・介護福祉士養成講座9「介護過程」（中央法規出版） 配布資料					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
1	ガイダンス	介護実習Ⅱまでの授業の流れ 学ぶべき事			本柳
2	介護過程の理解	アセスメントの復習①			本柳
3	介護過程の理解	アセスメントの復習②			本柳
4	介護過程の理解	介護計画とは 介護目標の設定の方法			本柳
5	介護過程の理解	介護目標の設定の方法			本柳
6	介護過程の理解	目標と優先順位			本柳
7	介護過程の理解	具体的な支援内容・支援方法の決定			本柳
8	介護過程の理解	具体的な支援内容・支援方法の決定			本柳
9	介護過程の理解	具体的な支援内容・支援方法の決定			本柳
10	介護過程の理解	介護の実施・記録			本柳
11	介護過程の理解	介護の実際・記録			本柳
12	介護過程の理解	評価			本柳
13	介護過程の理解	介護過程とケアマネジメントの関係性			本柳
14	介護過程の理解	チームアプローチにおける介護福祉士の役割			本柳
15	まとめ	単位認定試験・解説			本柳
【評価方法】					
筆記試験・授業態度・課題提出・出席状況による総合評価。					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(主な実務経験)
介護過程Ⅱ	60	2	2年 前・後期	講義・演習	本柳 瑞恵 (介護職員として介護施設に19年)
【授業の概要】 他の科目で学習した知識や技術を統合して介護過程を展開し介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う学習とする。					
【到達目標】 ①個別ケアの提供における介護計画の意義を理解することができる。 ②利用者の望む生活に向けて介護計画（個別援助計画）を立案することができる。 ③チームアプローチにおける介護福祉士の役割を説明することができる。					
【テキスト・参考書】 最新・介護福祉士養成講座9「介護過程」（中央法規出版） 配布資料					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
16	介護過程の実践的展開	介護過程展開の実際①			本柳
17	介護過程の実践的展開	介護過程展開の実際②			本柳
18	介護過程の実践的展開	介護過程展開の実際③			本柳
19	介護過程の実践的展開	介護過程展開の実際④			本柳
20	介護過程の実践的展開	介護過程展開の実際⑤			本柳
21	介護過程の実践的展開	介護過程展開の実際⑥			本柳
22	介護過程の実践的展開	介護過程展開の実際⑦			本柳
23	介護過程の実践的展開	介護過程展開の実際⑧			本柳
24	介護過程の実践的展開	介護過程展開の実際⑨			本柳
25	介護過程の実践的展開	介護過程展開の実際⑩			本柳
26	介護過程の実践的展開	実習前の準備			本柳
27	介護過程の実践的展開	実習の振り返り			本柳
28	介護過程の実践的展開	実習の振り返り			本柳
29	介護過程の実践的展開	報告会に向けての説明・まとめ			本柳
30	まとめ	単位認定試験・解説			本柳
【評価方法】 筆記試験・授業態度・課題提出・出席状況による総合評価					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(主な実務経験)
介護過程Ⅲ	30	1	2年後期	講義・演習	本柳瑞恵 (介護職員として介護施設に19年)
【授業の概要】					
他の科目で学習した知識や技術を統合して介護過程を展開し介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う学習とする。					
【到達目標】					
①実習Ⅱでの経験について事例を整理し、発表することができる ②事例を整理することで個別ケアの重要性、介護福祉士の役割について説明することができる					
【テキスト・参考書】					
最新・介護福祉士養成講座9「介護過程」(中央法規出版) 配布資料					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
1	介護過程の実践的理解	利用者の状況・状態に応じた介護過程の展開 事例研究・発表①			本柳
2	介護過程の実践的理解	利用者の状況・状態に応じた介護過程の展開 事例研究・発表②			本柳
3	介護過程の実践的理解	利用者の状況・状態に応じた介護過程の展開 事例研究・発表③			本柳
4	介護過程の実践的理解	利用者の状況・状態に応じた介護過程の展開 事例研究・発表④			本柳
5	介護過程の実践的理解	利用者の状況・状態に応じた介護過程の展開 事例研究・発表⑤			本柳
6	介護過程の実践的理解	利用者の状況・状態に応じた介護過程の展開 事例研究・発表⑥			本柳
7	介護過程の実践的理解	利用者の状況・状態に応じた介護過程の展開 事例研究・発表⑦			本柳
8	介護過程の実践的理解	利用者の状況・状態に応じた介護過程の展開 事例研究・発表⑧			本柳
9	介護過程の実践的理解	利用者の状況・状態に応じた介護過程の展開 事例研究・発表⑨			本柳
10	介護過程の実践的理解	利用者の状況・状態に応じた介護過程の展開 事例研究・発表⑩			本柳
11	介護過程の実践的理解	利用者の状況・状態に応じた介護過程の展開 事例研究・発表⑪			本柳
12	介護過程の実践的理解	利用者の状況・状態に応じた介護過程の展開 事例研究・発表⑫			本柳
13	介護過程の実践的理解	利用者の状況・状態に応じた介護過程の展開 事例研究・発表⑬			本柳
14	介護過程の実践的理解	利用者の状況・状態に応じた介護過程の展開 事例研究・発表⑭			本柳
15	介護過程の実践的理解	利用者の状況・状態に応じた介護過程の展開 事例研究・発表⑮			本柳
【評価方法】					
授業態度・出席状況					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(主な実務経験)
介護総合演習 I	60	2	2年前期	講義・演習	本柳 瑞恵 (介護職員として介護施設に19年)
【授業の概要】					
<p>実習の教育効果を上げるため、実習前の介護技術の確認や施設などのオリエンテーション、実習後の事例報告会または実習期間中に生徒が養成施設などにおいて学習する日を計画的に設けるなど、実習に必要な知識や技術、介護過程の展開能力などについて個別の学習到達状況に応じた総合的な学習とする。介護総合演習については、実習と組み合わせての学習とする。</p>					
【到達目標】					
<p>①実習施設の意義と役割を自分の言葉で説明できる。 ②実習での一連の課題と流れについて理解している。</p>					
【テキスト・参考書】					
<p>最新・介護福祉士養成講座10「介護総合演習・実習」第2版（中央法規出版） 実習の手引き</p>					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
21	実習の目的と実習内容	ガイダンス(実習 I-1 障害者施設) 実習ファイル配布・個人票作成			本柳
22	実習 I-1段階 障害施設実習の展開	事前学習			本柳
23	実習 I-1段階 障害施設実習の展開	実習計画書の作成 実習目標の設定			本柳
24	実習 II の目的と実習内容	ガイダンス・ 実習ファイル配布・実習 II の内容説明			本柳
25	実習 II の展開	個人票作成			本柳
26	実習 II の展開	実習先事前学習			本柳
27	実習 II の展開	実習計画書の作成 実習目標の設定			本柳
28	実習 II の展開	実習計画書の作成 実習目標の設定			本柳
29	実習 II の展開	実習計画書の作成 実習先への電話連絡			本柳
30	実習 II の展開	実習前最終確認			本柳
【評価方法】					
出席・授業態度・提出物にて総合的に評価する。					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(主な実務経験)
介護総合演習Ⅱ	60	2	2年 前・後期	講義・演習	本柳 瑞恵 (介護職員として介護施設に19年)
【授業の概要】					
<p>実習の教育効果を上げるため、実習前の介護技術の確認や施設などのオリエンテーション、実習後の事例報告会または実習期間中に生徒が養成施設などにおいて学習する日を計画的に設けるなど、実習に必要な知識や技術、介護過程の展開能力などについて個別の学習到達状況に応じた総合的な学習とする。介護総合演習については、実習と組み合わせての学習とする。</p>					
【到達目標】					
<p>①実習中に体験したことを振り返り、整理できる。 ②授業や実習を通して専門職としての介護観について理解することができる。</p>					
【テキスト・参考書】					
<p>最新・介護福祉士養成講座10「介護総合演習・実習」(中央法規出版) 実習の手引き 配布資料</p>					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
21	実習1-1段階の評価	課題提出・お礼状作成			本柳
22	実習1-1段階の評価	障害施設のまとめ(グループワーク)			本柳
23	実習Ⅱの展開	帰校日			本柳
24	実習Ⅱの展開	帰校日			本柳
25	実習Ⅱの評価	課題提出 お礼状作成			本柳
26	実習Ⅱの評価	実習の振り返り			本柳
27	実習Ⅱの評価	実習の振り返り・実習報告会の説明			本柳
28	実習Ⅱの評価	実習報告会の準備			本柳
29	実習Ⅱの評価	実習報告会			本柳
30	実習Ⅱの評価	実習報告会			本柳
【評価方法】					
出席・授業態度・提出物・実習報告会の評価					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員
介護実習Ⅰ - 1段階	72	2	2年前期	実習	宗形昭典 (介護職員として介護施設に6年勤務) 本柳瑞恵 (介護職員として介護施設に19年勤務)
【授業の概要】					
<p>個々の生活リズムや個性を理解する観点から様々な生活の場において個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、他職種協働や関係機関との連携を通じてチームの一員として介護福祉士の役割について理解する学習とする。</p> <p>個別ケアを行うためにこの生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするための利用者ごとの介護計画の作成、実習後の評価やこれを踏まえた計画の修正といった介護過程を展開し、他科目で学習した知識や技術を総合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を習得する学習とする。</p>					
【到達目標】					
<p>①1日の流れや業務内容を知り、利用者の生活や介護職の役割を理解できる。</p> <p>②利用者や職員とのかかわりを通し、コミュニケーションの必要性や重要性が分かる。</p>					
【テキスト・参考書】					
最新・介護福祉士要請講座第10 第2版 「介護総合演習・介護実習」(中央法規出版) 介護実習の手引き					
【授業計画】					
回数	具体的内容				教員
1					宗形
2	*実習内容の詳細については、実習の手引き、実習計画書参照				宗形
3	実習Ⅰについては ①施設における利用者の生活の流れを知り、介護職員の業務を学ぶことを通して、施設における介護機能・役割を学ぶ。				宗形
4	②利用者のニーズを知り、基本的な生活支援技術を学ぶことを通して、コミュニケーションの大切さを学ぶ。				宗形
5	③実習の中で学ぶ知識、技術などが、利用者の介護過程であることを学ぶ。				宗形
6	実習Ⅰ - 1段階 (1年次) 実習先：通所介護・通所リハビリ・訪問介護				宗形
7	1回目：7/4(月)～ 7/6(水) (1年次) 実習先：通所介護・通所リハビリ・訪問介護				本柳
8	2回目：7/11(月)～ 7/13(水)				本柳
9	(2年次) 実習先：障害者施設 3回目：7/4(月)～ 7/6(水)				本柳
【評価方法】					
実習態度・提出物・出席数					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(主な実務経験)
介護実習Ⅱ	192	4	2年 前・後期	実習	本柳瑞恵 (介護職員として介護施設に19年)
【授業の概要】					
<p>①個々の生活リズムや個性を理解する観点から様々な生活の場において個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、他職種協働や関係機関との連携を通じてチームの一員として介護福祉士の役割について理解する学習とする。</p> <p>②個別ケアを行うためにこの生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするための利用者ごとの介護計画の作成、実習後の評価やこれを踏まえた計画の修正といった介護過程を展開し、他科目で学習した知識や技術を総合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を習得する学習とする。</p>					
【到達目標】					
<p>①施設生活者の生活を支える介護過程の展開を体験し、個別ケア、生活支援を理解することができる。</p> <p>②福祉専門職としての事故の課題を明確化することができる。</p>					
【テキスト・参考書】					
最新・介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」(中央法規出版) 実習の手引き					
【授業計画】					
回数	具体的内容				教員
1	目標				本柳
2	<ul style="list-style-type: none"> 介護の知識・技術の基本を活用し、利用者の状態に応じた生活支援技術を学び実践する。 介護福祉士としての専門性を理解し事故の課題を追求する。 				本柳
3	ねらい				本柳
4	①個別ケアの個別性を理解し、利用者の状態に応じた生活支援の実践について学ぶ。				本柳
5	②利用者の自立支援における意義を学び支援の在り方を理解する。				本柳
6	③地域における施設の役割・機能を理解し、連携の在り方について知る。				本柳
7	④介護現場における介護過程の必要性や課題を理解する。				本柳
8	期間：令和4年9月26日(月)～10月31日(月)24日間 帰校日：令和4年10月11日(火)				本柳
9	介護過程レポートⅡ				本柳
10	○1週前半 「担当利用者を一人決める」				本柳
11	○第1週後半～2週目前半 「情報収集」				本柳
12	○第2週目後半 「アセスメント表の作成」				本柳
13	○第3週目 「介護計画立案」				本柳
14	○第3週～4週目 「実施」				本柳
15	○第5週目 「評価」				本柳
【評価方法】					
介護実習評価表による実習評価点と出席・記録・課題の総合評価。					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(実務経験の有無)
障害の理解	60	2	2年前期	講義	吉田朋子 (看護師として医療機関に10年勤務)
【授業の概要】					
障害の概念や基本理念・関連制度など理解を深めたいうで、障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識と特性に応じた支援を習得できるようにする。また、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点や地域でのサポート体制についても関連づけた学びとする。					
【到達目標】					
①障害の概念や制度、関連制度との関係性などを理解し、その後の学びと関連づけられる。 ②肢体不自由・視覚障害・聴覚言語障害・重複障害・内部障害・重症心身障害の原因や種類、分類について学び、障害の特性を理解し、生活面や心理面など介護の視点での支援方法が習得できる					
【テキスト・参考書】					
最新・介護福祉養成講座14 「障害の理解」(中央法規出版) 配布資料					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
16	障害のある人の生活の理解	肢体不自由とは・障害の種類・原因・特性の理解			吉田
17	障害のある人の生活の理解	肢体不自由のある人の心理的・生活面の理解 ・介護上の留意点			吉田
18	障害のある人の生活の理解	視覚障害への理解(医学的・心理的・生活面・制度面・介護上の留意点)①			吉田
19	障害のある人の生活の理解	視覚障害への理解(医学的・心理的・生活面・制度面・介護上の留意点)②			吉田
20	障害のある人の生活の理解	聴覚・言語障害への理解(医学的・心理的・生活面・制度面・介護上の留意点)①			吉田
21	障害のある人の生活の理解	聴覚・言語障害への理解(医学的・心理的・生活面・制度面・介護上の留意点)②			吉田
22	障害のある人の生活の理解	重複障害への理解(医学的・心理的・生活面・制度面・介護上の留意点)			吉田
23	障害のある人の生活の理解	内部障害への理解①(心臓機能障害)			吉田
24	障害のある人の生活の理解	内部障害への理解②(腎臓機能障害)			吉田
25	障害のある人の生活の理解	内部障害への理解③(呼吸機能障害)			吉田
26	障害のある人の生活の理解	内部障害への理解④(膀胱・直腸機能障害)			吉田
27	障害のある人の生活の理解	内部障害への理解⑤(ヒト免疫不全ウイルス・肝機能障害)			吉田
28	障害のある人の生活の理解	重症心身障害への理解(医学的・心理的・生活面・制度面・介護上の留意点)①			吉田
29	障害のある人の生活の理解	重症心身障害への理解(医学的・心理的・生活面・制度面・介護上の留意点)②			吉田
30	単位認定試験・まとめ	試験・まとめ			吉田
【評価方法】					
科目の最終回に評価を実施する。授業出欠、授業態度、試験、レポートによる評価。					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(実務経験の有無)
こころとかだのしくみⅡ	30	1	2年前期	講義	吉田朋子 (看護師として医療機関に10年勤務)
【授業の概要】					
加齢やさまざまな疾患で生じる生活行為に対しての生活障害がどのようなメカニズムで生じるかを理解でき、観察ポイントや連携の必要性、変化に気づける知識を学習する 終末期において死にいたるまでの心身の変化を学び、人生最後の時期に関わる基本的姿勢を学ぶ					
【到達目標】					
①生活行為においてのしくみを説明できる ②生活障害が及ぼす心身への影響と変化の気づきを理解し説明できる ③終末期における心身の変化や家族を含めた支援の方法を説明できる					
【テキスト・参考書】					
最新・介護福祉養成講座11 「こころとかだのしくみ」(中央法規出版) 配布資料					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
1	入浴・清潔保持のしくみ	入浴・清潔保持のしくみ			吉田
2	入浴・清潔保持のしくみ	心身機能低下が食事に及ぼす影響・変化の気づきと対応			吉田
3	睡眠に関連したしくみ	睡眠のしくみ			吉田
4	睡眠に関連したしくみ	心身機能低下が食事に及ぼす影響・変化の気づきと対応			吉田
5	死にゆくひとに関連したしくみ	「死」の捉え方			吉田
6	死にゆくひとに関連したしくみ	「死」の価値観			吉田
7	死にゆくひとに関連したしくみ	終末期(ターミナル期)			吉田
8	死にゆくひとに関連したしくみ	「死」に対するこころの理解①			吉田
9	死にゆくひとに関連したしくみ	「死」に対するこころの理解②			吉田
10	死にゆくひとに関連したしくみ	終末期から危篤状態・死後のからだの理解			吉田
11	死にゆくひとに関連したしくみ	終末期における医療職との連携			吉田
12	まとめ	こころとからだのしくみⅠ・Ⅱの振り返り、まとめ			吉田
13	まとめ	こころとからだのしくみⅠ・Ⅱの振り返り、まとめ			吉田
14	まとめ	こころとからだのしくみⅠ・Ⅱの振り返り、まとめ			吉田
15	単位認定試験・まとめ	試験・まとめ			吉田
【評価方法】					
科目の最終回に評価を実施する。授業出席、授業態度、試験、レポートによる評価。					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(実務経験の有無)
リハビリテーション I	30	1	2年前期	講義・演習	菅野秀二郎(理学療法士として病院に11年勤務) 岸波麻美(理学療法士として病院に12年勤務) 大竹樹美(言語聴覚士として施設などに18年勤務)
【授業の概要】 身体のおしくみにおける筋骨格・末梢神経・及び言語・聴覚嚥下の構造、機能を理解し、リハビリテーションにおける介護福祉士の役割を認識することができる。					
【到達目標】 ①骨と関節の関係など、からだの動きのメカニズムを解剖生理の視点から理解することができる。 ②人が生活する上での基本的動作について、介護予防の観点から理解することができる。 ③言語・摂食嚥下に関わる解剖としくみを理解することができる。					
【テキスト・参考書】 筋肉・関節・骨の動きとしくみ (マイナビ出版) 配布資料					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
1	運動器の構造と機能(基礎)	骨の構造と機能を学ぶ			菅野
2	運動器の構造と機能(基礎)	骨格筋の構造と機能を学ぶ			菅野
3	運動器の構造と機能(基礎)	末梢神経の構造と機能を学ぶ			菅野
4	運動器の構造と機能(応用)	運動から考える筋骨格系の働き①			菅野
5	運動器の構造と機能(応用)	運動から考える筋骨格系の働き②			菅野
6	姿勢	重心について 良い姿勢とは			岸波
7	姿勢	姿勢の変化 立位と座位について			岸波
8	移動	歩行・立ち上がり・寝返り・起き上がり①			岸波
9	移動	歩行・立ち上がり・寝返り・起き上がり②			岸波
10	移動	機能低下・障害と移動について			岸波
11	話す・聴く・食べるのしくみ	言語障害について			大竹
12	話す・聴く・食べるのしくみ	聴覚障害について			大竹
13	話す・聴く・食べるのしくみ	摂食・嚥下について①			大竹
14	話す・聴く・食べるのしくみ	摂食・嚥下について②			大竹
15	まとめ	単位認定試験・解説			菅野
【評価方法】 試験・提出物・出席・授業態度を総合的に評価する。					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(主な実務経験)
リハビリテーションⅡ	30	1	2年前期	講義	風岡 都 (理学療法士として介護施設等に23年勤務) 石井利幸 (作業療法士として介護施設に20勤務)
【授業の概要】 リハビリテーションの視点から生活支援をおこなうことを理解すると共に、リハビリテーションの観点から「その人の能力に最も適した生活」を捉えるための学習とする。					
【到達目標】 ①「尊厳の保持」「自立支援」という介護の考え方を理解するとともに「介護を必要とする人」をリハビリテーションの観点から捉えることができる。 ②介護における安全やチームワーク等について理解することができる。					
【テキスト・参考書】 配布資料					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
1	リハビリテーションの定義	リハビリテーションの歴史や理念の変遷			風岡 石井
2	リハビリテーションの定義	リハビリテーションの歴史や理念の変遷			風岡 石井
3	リハビリテーションに関わる専門職の特徴	生活行為の種類とそれぞれに応じたリハビリテーション			風岡 石井
4	リハビリテーションに関わる専門職の特徴	生活行為の種類とそれぞれに応じたリハビリテーション			風岡 石井
5	生活行為の向上のためのアセスメントの考え方	リハビリプログラムの立案の考え方			風岡 石井
6	生活行為の向上のためのアセスメントの考え方	リハビリプログラムの立案の考え方			風岡 石井
7	リハビリテーションに関する社会資源	自立支援のための用具の使用方法について			風岡 石井
8	リハビリテーションに関する社会資源	自立支援のための用具の使用方法について			風岡 石井
9	福祉用具の使用目的	何のためにこの道具が開発されたのかを学ぶ			風岡 石井
10	福祉用具の使用目的	何のためにこの道具が開発されたのかを学ぶ			風岡 石井
11	疾患別の特徴を理解し、リハビリテーション方法論を学ぶ	事例を用いて学ぶ			風岡 石井
12	疾患別の特徴を理解し、リハビリテーション方法論を学ぶ	事例を用いて学ぶ			風岡 石井
13	疾患別リハビリテーション方法論	リハビリテーション介護法 介助方法の実技			風岡 石井
14	疾患別リハビリテーション方法論	リハビリテーション介護法 介助方法の実技			風岡 石井
15	単位認定試験	試験・解説・まとめ			風岡 石井
【評価方法】 科目の最終回に評価を実施する。授業出欠・授業態度・試験・レポートによる評価					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(実務経験の有無)
医療的ケアの基礎と理解	68	2	2年前期	講義・演習	吉田朋子 (看護師として医療機関に10年勤務)
【授業の概要】					
医療的ケアの内容について理解し、介護福祉士が喀痰吸引等の医行為の一部を業として行うことへ制度やその変遷を学ぶ。医療的ケア実施の基礎について習得し喀痰吸引・経管栄養についての基礎的知識と実施について習得できる					
【到達目標】					
①医療的ケアにおけるこれまでの背景と社会的ニーズ・制度について説明できる ②医療的ケアを実施するための安全な療養生活や清潔保持、感染予防について説明できる ③健康状態について把握し、バイタルサインの測定・リスクマネジメント・救急蘇生について理解し説明できる					
【テキスト・参考書】					
最新・介護福祉養成講座15「医療的ケア」(中央法規出版) 配布資料					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
1	医療的ケア実施の基礎	医療的ケアとは			吉田
2	医療的ケア実施の基礎	医療的ケアについて			吉田
3	医療的ケア実施の基礎	喀痰吸引制度			吉田
4	医療的ケア実施の基礎	その他の制度			吉田
5	医療的ケア実施の基礎	安全な療養生活① 喀痰吸引や経緯管栄養の安全な実施			吉田
6	医療的ケア実施の基礎	安全な療養生活② リスクマネジメントの考え方と枠組み			吉田
7	医療的ケア実施の基礎	安全な療養生活③ ヒヤリハット・アクシデント 演習			吉田
8	医療的ケア実施の基礎	安全な療養生活④ 救急蘇生の手順とポイント			吉田
9	医療的ケア実施の基礎	清潔保持と感染予防① 感染とは・標準予防策			吉田
10	医療的ケア実施の基礎	清潔保持と感染予防② 標準予防策演習			吉田
11	医療的ケア実施の基礎	清潔保持と感染予防③ 介護福祉職の感染予防			吉田
12	医療的ケア実施の基礎	清潔保持と感染予防④ 消毒と滅菌			吉田
13	医療的ケア実施の基礎	健康状態の把握①			吉田
14	医療的ケア実施の基礎	健康状態の把握② 演習			吉田
15	医療的ケア実施の基礎	試験・まとめ			吉田
【評価方法】					
科目の最終回に評価を実施する。授業出欠、授業態度、試験、レポートによる評価。					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(実務経験の有無)
医療的ケアの基礎と理解	68	2	2年前期	講義・演習	吉田朋子 (看護師として医療機関に10年勤務)
【授業の概要】					
医療的ケアの内容について理解し、介護福祉士が喀痰吸引等の医行為の一部を業として行うことへ制度やその変遷を学ぶ。医療的ケア実施の基礎について習得し喀痰吸引・経管栄養についての基礎的知識と実施について習得できる。					
【到達目標】					
①呼吸についてのしくみが理解できるとともに、喀痰吸引に伴う行為について説明できる ②消化器についてのしくみが理解できるとともに、経管栄養に伴う行為について説明できる ③喀痰吸引・経管栄養についての実施手順を安全面も配慮して根拠をもって説明できる					
【テキスト・参考書】					
最新・介護福祉養成講座15「医療的ケア」(中央法規出版) 配布資料					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
16	喀痰吸引 (基礎的知識・実施手順)	呼吸のしくみとはたらき			吉田
17	喀痰吸引 (基礎的知識・実施手順)	いつもと違う呼吸状態 喀痰吸引とは			吉田
18	喀痰吸引 (基礎的知識・実施手順)	人工呼吸器と吸引			吉田
19	喀痰吸引 (基礎的知識・実施手順)	子どもの吸引について・吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意			吉田
20	喀痰吸引 (基礎的知識・実施手順)	呼吸器系の感染と予防 喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認 急変・事故発生時の対応と事前対策			吉田
21	喀痰吸引 (基礎的知識・実施手順)	実施手順①喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔保持			吉田
22	喀痰吸引 (基礎的知識・実施手順)	実施手順②吸引の技術と留意点			吉田
23	喀痰吸引 (基礎的知識・実施手順)	実施手順③喀痰吸引に伴うケア			吉田
24	喀痰吸引 (基礎的知識・実施手順)	実施手順④報告及び記録			吉田
25	経管栄養 (基礎的知識・実施手順)	消化器のしくみとはたらき			吉田
26	経管栄養 (基礎的知識・実施手順)	消化・吸収とよくある消化器の症状			吉田
27	経管栄養 (基礎的知識・実施手順)	経管栄養とは・注入する内容に関する知識			吉田
28	経管栄養 (基礎的知識・実施手順)	子どもの経管栄養について・経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意			吉田
29	経管栄養 (基礎的知識・実施手順)	経管栄養に関係する感染と予防・経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認、急変、事故発生時の対応と事前対策			吉田
30	経管栄養 (基礎的知識・実施手順)	実施手順①経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔保持			吉田
【評価方法】					
科目の最終回に評価を実施する。授業出欠、授業態度、試験、レポートによる評価。					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(実務経験の有無)
医療的ケアの基礎と理解	68	2	2年前期	講義・演習	吉田朋子 (看護師として医療機関に10年勤務)
【授業の概要】					
医療的ケアの内容について理解し、介護福祉士が喀痰吸引等の医行為の一部を業として行うことへ制度やその変遷を学ぶ。医療的ケア実施の基礎について習得し喀痰吸引・経管栄養についての基礎的知識と実施について習得できる。					
【到達目標】					
①呼吸についてのしくみが理解できるとともに、喀痰吸引に伴う行為について説明できる。 ②消化器についてのしくみが理解できるとともに、経管栄養に伴う行為について説明できる。 ③喀痰吸引・経管栄養についての実施手順を安全面も配慮して根拠をもって説明できる。					
【テキスト・参考書】					
最新・介護福祉養成講座15「医療的ケア」(中央法規出版) 配布資料					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
31	経管栄養 (基礎的知識・実施手順)	実施手順②経管栄養の技術と留意点			吉田
32	経管栄養 (基礎的知識・実施手順)	実施手順②経管栄養に必要なケア			吉田
33	経管栄養 (基礎的知識・実施手順)	実施手順②報告および記録			吉田
34	まとめ	単位認定試験・まとめ			吉田
【評価方法】					
科目の最終回に評価を実施する。授業出欠、授業態度、試験、レポートによる評価。					
【その他】					

科目名	時間	単位	学年・期	形態	主たる担当教員(実務経験の有無)
喀痰吸引・経管栄養演習	30	1	2年後期	演習	吉田朋子 (看護師として医療機関に10年勤務)
【授業の概要】 医療職の連携のもとで、医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を習得する。 シュミレーターを用いて、「喀痰吸引」「経管栄養」「救急蘇生」の各演習において、ケア実施の一連の流れを習得する。					
【到達目標】 ①喀痰吸引（口腔内吸引・鼻腔内吸引・気管内カニューレ内部）を5回以上実施し合格できる ②経管栄養（胃ろうまたは腸ろう・経鼻）5回以上実施し合格できる ③救命蘇生法を学びシュミレーターを使い正しく実施できる					
【テキスト・参考書】 最新・介護福祉養成講座15「医療的ケア」（中央法規出版） 配布資料（実施手順）					
【授業計画】					
回数	テーマ	具体的内容			教員
1	喀痰吸引・経管栄養手順	演習方法の説明 喀痰吸引、経管栄養の実実施手順確認			吉田
2	喀痰吸引・経管栄養演習	喀痰吸引（口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内部）の 実践 経管栄養（胃ろう・経鼻）の実践 1人：各5回以上 合格できるまで			吉田
3	喀痰吸引・経管栄養演習				吉田
4	喀痰吸引・経管栄養演習				吉田
5	喀痰吸引・経管栄養演習				吉田
6	喀痰吸引・経管栄養演習				吉田
7	喀痰吸引・経管栄養演習				吉田
8	喀痰吸引・経管栄養演習				吉田
9	喀痰吸引・経管栄養演習				吉田
10	喀痰吸引・経管栄養演習				吉田
11	喀痰吸引・経管栄養演習				吉田
12	喀痰吸引・経管栄養演習				吉田
13	喀痰吸引・経管栄養演習				吉田
14	救急蘇生法の実際				心配蘇生法・AED 各自1～2回実施
15	救急蘇生法の実際	吉田			
【評価方法】 実技試験（厚生労働省通知「喀痰吸引等研修実施要項」により項目ごとに評価）					
【その他】 必要物品：喀痰吸引、経管栄養で使用する器具・器材・レサシアンとAED など					